

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【公開番号】特開2008-188984(P2008-188984A)

【公開日】平成20年8月21日 (2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2007-313612(P2007-313612)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月8日 (2010.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録ヘッドと、前記記録ヘッドが噴射した紫外線硬化型インクに対して紫外線を照射する紫外線光源を有した紫外線照射装置と、を備える記録装置であって、

前記紫外線照射装置は、特定の波長の紫外線を透過させる第 1 フィルタと、前記第 1 フィルタよりも前記記録ヘッドに近い位置に配置されており、かつ、前記第 1 フィルタよりも短波長の紫外線を透過させる第 2 フィルタと、をさらに有し、

前記紫外線光源は、前記第 1 フィルタ及び前記第 2 フィルタを介して、前記紫外線硬化型インクに対して紫外線を照射することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記紫外線照射装置は、前記第 1 フィルタ及び前記第 2 フィルタと前記紫外線光源を挟んで対向する位置に配置され、前記紫外線光源から出射された紫外線を前記第 1 フィルタ及び前記第 2 フィルタ側へ反射する反射機構をさらに有することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記第 2 フィルタは、300nm以下の紫外線のみを透過することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の一実施形態に係る記録装置は、記録ヘッドと、前記記録ヘッドが噴射した紫外

線硬化型インクに対して紫外線を照射する紫外線光源を有した紫外線照射装置と、を備える記録装置であって、前記紫外線照射装置は、特定の波長の紫外線を透過させる第1フィルタと、前記第1フィルタよりも前記記録ヘッドに近い位置に配置されており、かつ、前記第1フィルタよりも短波長の紫外線を透過させる第2フィルタと、をさらに有し、前記紫外線光源は、前記第1フィルタ及び前記第2フィルタを介して、前記紫外線硬化型インクに対して紫外線を照射することを特徴とする。

また本発明の一実施形態に係る記録装置において、前記紫外線照射装置は、前記第1フィルタ及び前記第2フィルタと前記紫外線光源を挟んで対向する位置に配置され、前記紫外線光源から出射された紫外線を前記第1フィルタ及び前記第2フィルタ側へ反射する反射機構をさらに有することを特徴とする。

また本発明の一実施形態に係る記録装置において、前記第2フィルタは、300nm以下の紫外線のみを透過することを特徴とする。

また本発明の一実施形態に係る紫外線照射装置は、記録ヘッドが記録媒体上に噴射した複数の紫外線硬化型インクに対して紫外線を照射する紫外線光源を備えた紫外線照射装置であって、前記記録ヘッド近傍の前記記録媒体上を照射する前記紫外線光源の紫外線は、前記記録ヘッド近傍から離れた前記記録媒体上を照射する前記紫外線光源の紫外線よりも、波長が短いことを特徴とする紫外線照射装置によって達成される。